

市政モニター提言



# 害虫駆除について

土屋 愛作 (中丸・65才)

害虫の被害がひどくなった時は、薬剤による駆除が一番効果があることは確かです。しかし、病気と同じことでひどくならないうちに発見駆除することが一番望ましいことだと思います。

私も庭木や草花が好きなのでよく植えて楽しんでいますが、とにかくよく虫がつきます。毎日朝夕よく調べ、ひとつひとつ手で取っていますが、もっともこれが日課で、ひとつの楽しみでもあります。それより私は薬剤撒布が大嫌いです。少量とはいえ

昔農薬の問題もあったように決して吾々人間の薬にはなりません。

薬剤によってすぐに病気にならなくても、害があることは事実です。各家庭においても、薬がよくきくという安易な気持で薬品に頼ることのないようにして欲しいと思います。一戸でわずかな撒布でも5万6000世帯の撒布量は相当の量になります。

## 薬済を使わない

## 枝切りや焼却を指導

害虫駆除(アメリカシロヒトリ)のパンフレットを6月上旬に各町内へ送り、回覧していただきました。このほか、広報ふじやお知らせ広報などでも害虫の駆除・防疫の方法を

PRしていますが、市民の害虫に対する認識がまだうすいので、さらにPRを行ってまいります。

なお、薬剤撒布の方法は、天敵を殺したり、人間への害が考えられるので、みどりの課への問合せ、現地指導においては、枝切り、焼却の方法で行っています。

(都市整備部みどりの課)



# 造林補助申込みについて

昭和50年春未確認苗木(自由苗)を植栽した方でも、今年に限り補助の対象になりますので申込んでください。

### ■申込み資格

- ・1カ所0.1畝(約1反歩)以上植栽した人
- ・杉、桧の伐採跡地へ植栽した人
- ※ただし、融資を受けることができる会社、団体などは補助の対象になりません。

りません。

### ■申込み受付期限

昭和50年8月10日

### ■申込み問合せ先

経済部林政課 51-0123 内線412413

## 8月の

# 当直医

休日当直医院は、富士市医師会が急病者のために定めたものです。ところが、最近、かかりつけの医院がやすみなのでみてくださると、当直医院に来る人が多くなりました。特に医療センターに多く、急病者の診察に支障をきたしていますので、当直医院は急病のときにだけご利用ください。

### ■8月3日

- 外科 山崎医院(厚原 71-3315)
- 米山病院(吉原4 52-3060)
- 産婦人科 武田医院(西宮島63-5122)

### ■8月10日

- 外科 中央病院(本市場 61-8800)
- 吉田医院(石坂 51-2515)
- 産婦人科 山下医院(西国窪52-0611)

### ■8月17日

- 外科 望月医院(本市場 61-8075)
- 芦川病院(中央町2 52-2480)
- 産婦人科 中央病院(本市場61-8800)

### ■8月24日

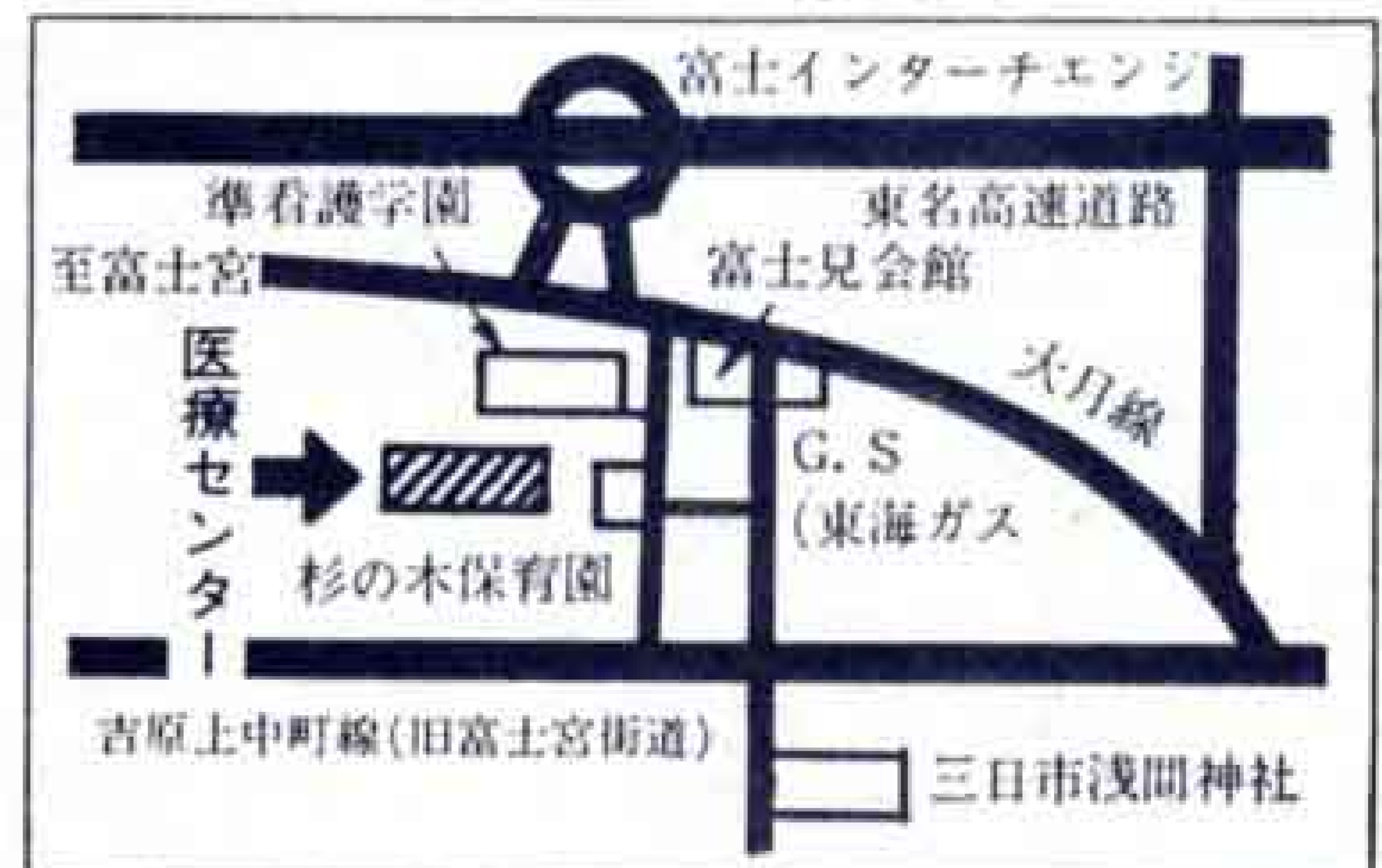
- 外科 田辺医院(本市場 61-8410)
- 米山病院(吉原4 52-3060)
- 産婦人科 北西医院(本市場61-0019)

### ■8月31日

- 外科 戸田医院(横割1 63-5213)
- 芦川病院(中央町2 52-2480)
- 産婦人科 谷医院(八幡町 61-0039)

※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間は午前9時から午後5時までです。ただし受付時間は4時30分までです。医療センターでは、日曜祝祭日以外は行っておりません。

### 医療センター案内図



医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町)」